

自由意見（集計結果）

多くのご意見をいただきました。一つ一つのご意見を重く受け止め、真摯に対応してまいります。いただいた全てのご意見を掲載し、学校としての回答をお知らせします。

全意見

- 1 特になし
- 2 いつもありがとうございます！
- 3 先生方にはいつも本当に感謝しています。ありがとうございます。この新しい生活様式のなかで校則を見直すべき所が多々あるように感じます。iPad の使用方法も子供のスキルの方が上回っている事を大人たちが甘く見ていた結果だと思えます。朝読書に紙でなくてはならないというのも事情は汲み取れますがナンセンスな気がしてなりません。正しい使用法は規制ばかりでは指導できないかとも思います。また換気が必須の中、授業中の上着、膝掛けなどももう一度見直して頂きたいと思えます。昨年クーラーの際にもお願い申し上げましたが女子の身体が冷えやすいことをもう少し考慮した柔軟な校則を検討して頂きたいと思えます。
- 4 我が子も含めてですが、全体的に定期テストの平均点が低く、生徒の学力低下なのか、指導の仕方や試験の内容なのかはわかりませんがこのままで大丈夫なのかと不安です。もう一つ提出物や1学期試験内容、社会の家までの通学路の記載など、個人個人で内容が違うものの評価の付け方がよくわかりません。特に社会に関しては家が近い子は時間をかけなくても記載できますが家が遠い場合書くのに時間がかかる目印になるものの記載も多くなります。試験の中の評価として参考程度であれば良いのですが、はじめてのテストということもあり本人も困惑していました。学年で授業中立ち歩いたり、私語が目立つなどできていないとのことですが、いつも同じ児童だとは思いますが改善方法はないのでしょうか？
- 5 現在コロナで換気をしていると思えますが、授業中の生徒に上着やマフラー、膝掛けなどの対応をしてください。ただただ寒いと訴える生徒の声に耳を傾けてほしいです。あと、バスケ部が強いのは理解しますが、かと言って授業中に騒ぐ事を放置したり、他の寒いと訴える生徒には認めない私服の着用を認めたりせず、一律の対応を求めます。何ら行事もなく代替え行事も無い中、先生には空いた時間で生徒に目を向けて頂きたく存じます。
- 6 いつも大変お世話になっております。リモートで学習の時は果たして自分の子供は出来ているのか心配の毎日でした。こうして学校へ通える事がとてもありがたいことだと親子共々感謝しております。ありがとうございます。来年も引き続き親子共々宜しく願います。
- 7 現在ピアノの音が狂っています。過日、発表会を控えていることもあり調律をしてくださるよう要望したにもかかわらず調律の時期が決まっているとの回答で調律して下さらないまま現在も放置されているようです。たとえ調律の時期が目安として決まっても音が明らかに狂っていたならば即対応願います。気が付いていながら対応をして下さらない理由があるのでしょうか？音過敏の一手手前の段階ですがこれを機に体に変調をきたすようになっては大変だと危惧しております。
- 8 来校者への挨拶の徹底を指導頂きたいと思えます
- 9 生徒に対して あの人には優しい 厳しいなどを感じさせてしまうことがある(別にうちの子供がというわけではありません)聞いたことがあります また 言葉ひとつで人間的に否定するような言葉なども気を付けたほうがよいと思えます
- 10 登校拒否する子に対して、個別で月一程度でもいいので、お話を聞いてあげたり、相談を乗ったりしてくれれば、少しずつ子どもの変化見られるかもしれません。
- 11 廃校になって下さい。存在事態不愉快です。
- 12 いつもありがとうございます。これからもどうぞ宜しく願います。

13 普段伝えられない悩み事も抱えてる子ども多いと思う年頃ですし、いじめやトラブル回避の為に、生徒に向けてのアンケートなども定期的に取り組めると良いと思います。

14 現在の学校が抱える問題がよくわからないので、具体的な改善策も解りませんが、私立と違って区立なので、港区の教育機関でももう少し充実したオンライン化が可能になると良いかと思います。

15 学校ブログいつも楽しく拝見しています。参観日には無い日常が観れて、嬉しいです。これからも楽しみにしております。コロナで見に行く事が出来なくなった部活の様子や、何気ない休み時間等も沢山見れたら嬉しいです。

16 子どもたち一人ひとりが、もう少し自己責任の意識を高める方が良いと思うことがあります。できれば自発的に。具体的な改善策ではなくて、申し訳ありません。言うのは簡単ですが、どうすれば良いかは難しいですね。

17 学校から帰宅した子供から毎日いろいろな話を聞きます。話の内容では人との関係はいろいろあるみたいですが、なんとかやっている様子です。先生方には大変お世話になっておりありがとうございます。

18 引き続き、ご指導をよろしくお願いいたします。

19 特に思いつきません。すみません。

20 緊急事態宣言中は一斉登校では無く、オンライン授業をメインにして欲しいです。変異型は子供でも感染しやすいとの事。登校に不安があります。受験時期に有事の事態を考慮し、各家庭対応が分かれるかと思いますが、柔軟に対応して頂きたいです。通勤されている教職員の方々のリスクも大きいと思います。

21 子供の気持ちに寄り添って指導していただいていると感じています。今後ともよろしくお願いいたします。

22 今の時代、既存の規則や慣習に盲目的に従うだけでなく、その背景を理解した上で納得するか、さもなければ正しいと思える方向に自らが道を切り開く気概と姿勢が必要と考えます。生徒にもよるのだとは思いますが、例えば「何故このような校則があるのか」「何故休み時間にタブレットでYouTubeを観てはいけないのか」等についてとことん議論をする、という様子が見られず、挑む前から「どうせ言っても変わらない」とあきらめているのが気になっています。小さなことでもよいので「自らが考え抜き、他者と意見を交わし、関係者を巻き込んで変化を起こすことができた(或いは納得することができた)」という成功体験を積み重ねられるよう、引き続きご指導いただければ幸いです。

23 外国籍の保護者の方とお話したときに、日本語がわからない方だったので、普段の学校からの手紙の内容をどのように把握されているのか気になりました。最近はスマホの翻訳アプリが、完全ではないかもしれませんが、いろいろな言語の翻訳に使えて便利なので、学校のお知らせをメールでも受け取れたり、QRコードなどを使ってデータ化された情報が受け取れると、より情報にアクセスしやすいと思います。

24 授業態度が決して良くない生徒に対する、先生の熱心な指導には感謝しています。しかし、廊下においてあるホワイトボードや学年だより「喜雨」には、見た瞬間に心が痛む様なネガティブな言葉の表現が多用されていて残念です。日頃の素行や授業態度が良い生徒も目にするものなので、ネガティブな表現を毎日大きな字で見続けた時の、心の影響が気になります。同じ内容の事を伝える場合にも、ポジティブな言語表現で生徒に伝えようとする気持ちと、ネガティブな言語表現で伝える場合、効果がまったく違うのではと感じます。生徒の心が幸せを感じ、自己肯定感と自主性を育める様な、言語表現をお願いしたいと思います。

25 特にありません

26 娘の担任の先生、学年の先生、保健の先生。大変素晴らしい方々ばかりで、感謝しております。卒業までどうぞ宜しくお願いいたします。

回答

今年度は、Web 上でのアンケートになったことがよかったのか、例年になく多くの自由意見をいただきました。貴重なご意見、ありがとうございました。

一つ一つのご意見にお答えする形ではなく、内容をまとめた形で回答させていただきます。

校則の見直しについて

貴重なご意見、ありがとうございます。

学校としても、学校のきまりは時代に合わせて見直しを図っていかなければならないと考えております。

今年度は「生活のきまり」の項目で、男女で分ける必要のない決まりについて見直しました。

また、来年度からは標準服においても男女の表記をなくし、選択できるようにするとともに、現在女子のスカートに使用している柄でのスラックスも導入しました。

本来であれば、これらの変更を生徒会と共に議論して進めたかったのですが、休校や分散登校で議論する時期を逃してしまいました。来年度は、校長・生活指導主任・教務主任等と生徒会役員の生徒との座談会を学期に1回程度開催し、生徒と共に学校の在り方を考えてまいります。

防寒対策等について

コロナ禍における学校においては、常時換気して行うこととなっております。

それゆえ、防寒対策については、ひざ掛けを使用することを推奨し、必要であれば、授業中にコート等の防寒着を着用することを許可しております。

これらのことが、徹底せず、生徒に寒い思いをさせてしまっているということなので、教職員に再度必要に合わせて防寒対策を行うよう指示しました。

外国籍保護者への対応について

貴重なご意見、ありがとうございます。

本校でも、外国人の保護者の方々にも、学校の考え方を理解していただくため、学校では、必要に応じて「やさしい日本語」による文書を作成したり、紙で配布しなければならない文書に QR コードを付してデータ化できるようにしたりと様々な方法を試行しております。

また、区の国際化推進係とタイアップして本校において「にほんごサロン」を開催し、外国人の方に日本の文化や日本語に慣れ親しんでいただけるような取り組みを行っています。

まだまだ、アナウンスが足りないということなので、わかりやすくアナウンスしてまいります。

iPad の活用法とオンライン授業について

休校中や分散登校中は、まだ、機材が揃っていなかったこともあり、正式にオンライン授業を行うことはできませんでした。

港区も、この状況を打破するために、一人1台のタブレット端末の貸与を前倒しし、令和2年12月末には一人1台タブレット端末を使用できる環境を整え、現在では、再度一斉休校になった時に、オンライン授業を行うことは可能となっております。

また、タブレット端末については急いで導入したため、iPad の使用方法等については、「走りながら考えている」状況であることは否めません。来年度は、教科書改訂に合わせていくつかの教科書のデジタル教科書が iPad に入ることとなっております。混乱のないようにルールを定め、有効に活用してまいります。

iPad の使用方法についても、生徒との座談会を活用し、生徒と共に考えてまいります。

不登校生徒等への対応について

現在でも、担任から定期的に連絡をとり、生徒・保護者の方と話をしております。
ただ、生徒によっては学校からの連絡がプレッシャーとなってしまうこともあり、その場合は、保護者と相談の結果、配布物を持っていくことにとどめたりしています。
また、スクールカウンセラーとの面談が有効なのであれば、紹介し、面談を行っているケースもあります。
また、月に一度「生活アンケート」と称して、生徒からアンケートを取り、心配な生徒には担任等から声をかけています。そのうちの2回は「なんでも相談」と称して、生徒が相談する相手を指名して相談できる体制を整えております。
しかし、本当に大切なのはアンケートを取ることなく、心配事があれば気軽に教職員に相談できる雰囲気づくりであると考えております。
すべての生徒が六本木中学校の一員であることを感じ取れるような対応をすることが大切です。今後も、焦らず、保護者の方や生徒に寄り添って対応してまいります。

言語表現について

貴重なご意見、ありがとうございます。
おっしゃる通り、学校では、乱暴でネガティブな表現は、可能な限り避けて教育活動を進めていかなければなりません。それは、ご意見にもある通り、生徒の心が幸せを感じ、自己肯定感と自主性を育ていく必要があるからです。
しかし、学校では、危険な状況を避けたり、他の生徒へ危害を及ぼす可能性があることに対しては、強い言葉で指導することもあります。その場合、入り口は強い言葉であっても、出口はポジティブな言葉になるよう話を進めております。ネガティブな掲示物に関してましても、状況が改善された次第、生徒に改善されたことを評価し、撤去します。
また、学年によっては、ポジティブな声掛けができるよう、複数の教員で学級活動を見守るという取組を行っております。
ご指摘の通り、ネガティブな言葉だけでは、生徒の健やかな成長は望めません。
ポジティブな言葉かけで、すべての教育活動をいくことが理想です。六本木中学校でも、そうなるように、努めてまいります。

ピアノの調律について

音楽室にあるピアノについては、原則として学期に1回、学期に1回以外に弦の張替え等が生じたときに調律を行っています。
今年度については、歌唱の指導に制限がかかり、ピアノを使用する頻度が激減したことから調律回数が減っていました。
正しい音で音楽の教育することは大切なことですので、今後も調律の予算がある限り正しく調律してまいります。

たくさんの励ましの言葉もいただきました。ありがとうございます。

今年度は、緊急事態宣言に始まり、緊急事態宣言に終わった年度となり、学校も思うような教育活動ができませんでした。そんな中でも、保護者の方々からのあたたかい励ましの言葉に勇気づけられながら、教職員一同生徒の安全を第一優先として学校運営を行ってまいりました。

来年度も、しばらくの間は、新型コロナウイルス感染症と付き合いながら学校生活を送ることになると思われます。できることとできないことをしっかりと見定め、進めてまいります。

これからも、学校の教育活動についてご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

港区立六本木中学校
校長 石原 嘉人